

基本目標	主要施策	項目	番号	評価会議における意見等	種別	回答（対応策）・コメント	担当課等	備考	
基本目標1 「強靱」な 水道の構築	主要施策(1) 安定給水の確保	成果指標 (2)-②	1	管路の事故割合の成果目標「1.6(件/100km)以下(毎年度)」が26年度の成果実績1.0(件/100km)よりも高い割合でよいのでしょうか。	A委員	確認	今後、管の老朽化がますます進行する事から、漏水(事故)リスクは高まっていくものと思われますが、現中期経営計画では、前中期経営計画2011で定めた目標数値1.6件を上回る事がないよう、継続した目標値として定め、計画的な管路更新や適切な維持管理により対応を図っていきます。	給水課	
			2	管路の事故割合に関し、主な取組等の記述は必要ないでしょうか。	A委員	提案	管路の事故割合を減らす取組として、取組④「管路の更新・整備」において、計画的に老朽管を更新することとしています。	給水課	
		取組② 浄・給水場 施設の更新・ 整備	3	取組内容に「水源の水質悪化が進んでいる」と記載されていますが、現状でも水質悪化が進んでいるのでしょうか。	A委員	確認	柏井浄水場東側施設の水源である印旛沼と福増浄水場の水源である高滝ダム湖において、湖沼の水質汚濁に係る環境基準であるCODの平成26年度の値と過去の平均値を比較すると、悪化傾向が見られます。 具体的には、印旛沼ではH21～H25の平均値は10.3mg/Lでしたが、H26は11mg/Lと全国ワースト1位となっております。また、高滝ダム湖でもH21～H25の平均値は6.3mg/Lでしたが、H26には過去最悪の7.4mg/Lとなり全国ワースト8位となっております。 以上により、現在、水源の水質悪化に対応するため、柏井浄水場東側施設と福増浄水場の水処理改善事業を進めております。	計画課	
		取組③ 浄・給水場 設備の更新・ 整備	4	取組内容の記載について、以下の記載の方が良いのではないのでしょうか。 「設備の運用」→「設備の運転」 「主な設備は」→「主な設備更新は」	A委員	文言	委員の御指摘のとおり修正いたします。	浄水課	
		取組④ 管路の更新・ 整備	5	大口径管路のバックアップとはどのようなことでしょうか。	A委員	確認	大口径管路は、局の中でも特に重要な管路であり、不通になった場合バックアップが出来ないと影響が大きいのでバックアップが出来ない管路を優先して更新を進めていきます。	給水課	
			6	今まで大口径管路の更新は全くしたことがないのでしょうか。	A委員	確認	これまでも更新を検討していましたが、断水や赤水等による影響が大きいことから、更新については漏水した部分についてのみ行ってきました。 前中期経営計画からパイロット工事に着手し、現中期経営計画から大口径管路の更新を計画的に進めていくこととしています。	給水課	
			7	大口径管路更新工事及び基幹管路の整備について、各年度の進捗予定にムラがあるのはなぜでしょうか。また、主要施策(2)-②「管路の耐震化の推進」において、重複する取組については、「再掲」等の表示がされると分かり易いと思います。	B委員	確認	大口径管路更新については、平成28年から平成29年までは、試験的に2路線の工事を行います。平成30年からは、試験施工を踏まえ、順次更新路線を追加していく計画としています。そのため、各年度で更新延長に差異が生じています。 基幹管路の整備のメイン工事である第二北総～成田線については、北千葉道路建設計画に併せて施工していることや、施工区域によっては、農繁期の制限を受け年間を通じて施工できない箇所があるため、各年度の延長に差異が生じています。 重複する取組については、(主要施策(1)-④「管路の更新・整備」取組内容ア)～ウ)の再掲載です)と表示します。	給水課	
	主要施策(2) 耐震化の推進	取組① 浄・給水場 施設の耐震化 の推進	8	耐震診断は貴局内全施設について完了しているのでしょうか？	C委員	確認	完了しております。	浄水課	
			9	スケジュール欄の「〇〇耐震施設数」だと累計値と誤解する可能性があるのでは「〇〇耐震化工事数」とでもした方が分かりやすいと思います。	C委員	文言	委員の御指摘のとおり修正いたします。	浄水課	
		取組② 管路の耐震化 の推進	10	高級と聞いてしまうと、耐震性はあると業界外の人にはイメージで誤解してしまう、この文章が分かり難くなるため、「高級鋳鉄管」ではなく「耐震性の低いねずみ鋳鉄管」とした方が理解しやすいと思います。	C委員	文言	高級鋳鉄管は、昭和5年に従来の鋳鉄管を改良し、引張強さが25kgf/mm ² を越える材質の鋳鉄管として開発されたもので、従来の鋳鉄管と区別するため、従来の鋳鉄管は「普通鋳鉄管」、改良型は「高級鋳鉄管」と名付けられました。「普通鋳鉄管」「高級鋳鉄管」は共に学術上は「ねずみ鋳鉄管」に分類されますが、「ねずみ鋳鉄管」と記載した場合、さらに耐震性の低い「普通鋳鉄管」と混同されてしまう恐れがありますので、「耐震性の低い高級鋳鉄管」と修正します。	給水課	

基本目標	主要施策	項目	番号	評価会議における意見等	種別	回答（対応策）・コメント	担当課等	備考
基本目標 1 「強靱」な 水道の構築	主要施策(3) 危機管理体制 の充実	取組① 緊急時に備え た体制の充実	11	取組内容の記載について、以下の記載の方が良いのではないのでしょうか。 「地震及び事故の発生時」→「地震等の自然災害及び事故の発生時」	A委員	文言	地震以外にも風水害等の自然災害を想定していることから、御指摘のとおり修正いたします。	計画課
			12	28年度 of 取組計画の記載について、以下の記載の方が良いのではないのでしょうか。 「職員各自が非常事態に」→「職員及び支援協力員が非常事態に」	A委員	文言	支援協力員の他にも、千葉県水道管工事協同組合や関係団体と連携した訓練を行っていることから、「職員及び関係機関等が非常事態に」と修正いたします。	計画課
			13	スケジュールの記載について、以下の記載の方が良いのではないのでしょうか。 「使用不可能な」→「使用不能な」	A委員	文言	委員の御指摘のとおり修正いたします。	給水課
			14	テーマ型訓練は 104回とありますが、1個人で見た場合に最少の人は何回、最多の人は何回訓練することになるのでしょうか。	C委員	確認	テーマ型訓練は、各所属でテーマを定め、年4回程度訓練を行っています。 各所属で訓練内容が異なるため一概には言えませんが、情報伝達訓練等の所属全員を対象とした訓練や、応急給水・応急復旧訓練等の関係職員及び希望者を対象とした訓練を行っていることから、1個人でみた場合、最少で1回、最多で4回訓練に参加していると考えています。	計画課
		取組③ 浄水施設の危 機管理対策の 強化	15	取組名は「浄水施設」ではなく、「浄・給水施設」ではないのでしょうか。	C委員	文言	取組名は中期経営計画が策定済みであることから、浄水施設のままいたしますが、各年度の評価の際には御意見を踏まえた表現とします。	浄水課

基本目標	主要施策	項目	番号	評価会議における意見等	種別	回答（対応策）・コメント	担当課等	備考
基本目標 2 「安全」な水の供給	主要施策(4) 安全な水づくり	取組① 水源の監視・保全	16	28年度の達成目標384回以上が26年度の達成実績442回よりも少なくないのでしょうか。	A委員	確認 水源調査については、定期的な水質検査の実施により、その状況を監視することとしており、32地点×12回（毎月）で384回以上を達成目標としています。 26年度は、定期的な水質検査384回に加えて、手賀沼や印旛沼で発生したカビ臭に対応するための臨時調査等を行ったため回数が増加しています。 なお、定期調査等において、水質的な問題が発生する傾向がみられる場合には、必要に応じて臨時調査等を実施していきます。	浄水課	
			17	32か所×12か月の水源水質調査の結果は、どのように水源の水質保全に生かされているのでしょうか。調査回数が達成目標になっていますが、戦略的に地点や頻度、測定項目を定めるべきものであって、単に回数が多ければよいというものでもないように思われます。水源調査の方針についてご説明をお願いいたします。	D委員	確認 水源水質調査は、主に水源の監視のために行うものですが、水質保全としては、水源の水質保全を推進する各協議会に参加し、水質データを提供するなど、関係機関と連携して水質改善を促進していくために活用しています。 また、本取組では調査回数を達成目標としていますが、御指摘のとおり、当局としても回数が多ければよいと考えているわけではありせん。 水源調査については、定期的な水質検査で、その状況を監視することとしており、この定期調査や他事業者からの情報により、水質的な問題の発生が予測される場合には、必要に応じて臨時調査を追加実施していく方針です。	浄水課	
		取組③ 水質管理レベルの維持・向上	18	水安全計画について、「必要な見直しを行います。」とありますが、見直しの基準やポイントはどのようなもののでしょうか。併せて、計画の「見直しを毎年度実施」することが達成目標とされていますが、その考え方はどのようなものなのでしょうか。	B委員	確認 水安全計画の見直しについては、特に基準等はありませんが、水道水の安全性の更なる向上のため、新たに発生すると予測される危害や発生した危害について対応方法を検討するとともに、毎年度、計画の検証を行い、必要に応じて見直しを行うことを目標としています。 一例として、福島原子力発電所事故への対応を踏まえ、放射性物質対策を計画に反映させるなど、必要な見直しを行っています。	浄水課	
			19	水質検査器は貴局内に何台あり、耐用年数は概ね何年くらいでしょうか。新規に購入するものは、法改正などにより新たに計測する物質が増えたということでしょうか。	C委員	確認 水質検査機器は、水質センター及び各浄水場に合計で約360台あります。 法定耐用年数は5年となっていますが、更新に当たっては機器の使用頻度や劣化状態を考慮しています。 なお、今年度、新規に購入する機器は法改正によるものではなく、浄水場で生じている水質上の問題についての調査・検討などを行うためのものです。	浄水課	
	主要施策(5) おいしい水の供給	取組① おいしい水づくりの技術的な取組み	20	達成目標値は前回中期経営計画達成目標と同じ0.4mg/lですが、前中計のH26年度実績では0.6mgとオーバーしていましたが、H27年度実績値がどうなったか教えてください。	C委員	確認 残留塩素濃度は0.6mg/Lでした。引き続き0.4mg/Lを目指してまいります。	計画課	
			21	イベント参加人数について、28年度の達成目標22千人が26年度の達成実績24千人よりも少なくないのでしょうか。	A委員	確認 達成目標は過去H19～H26の実績値から算出していますが、H26年度については、出前講座で、学校側から全校授業参観で開催してほしいとの要望があり、1回で920人が参加するという特殊な事例があったためです。	計画課	
		取組② 安全でおいしい水キャンペーン	22	水道水の安全性についての理解度は、いつ調査するのでしょうか。また、理解度80パーセントの素となる設問を教えてください。	C委員	確認 水道水の安全性についての理解度は、インターネットモニターアンケートで調査します。 「あなたは、今使っている水道水の安全性についてどのように思いますか。」という設問に対して、「安心である」＋「まあまあ安心である」と回答した割合の合計です。	計画課	
			23	計画本文と表現を合わせて、28年度の実行計画欄、スケジュール欄において、「浄水場見学会」、「利き水体験」と統一してください。	C委員	文言 ご意見どおり「浄水場見学会」、「利き水体験」と修正します。	計画課	
	取組③ お客様とのコミュニケーション	24	体験と情報収集の2面性があるようですが、体験を前面に出した方が取り組みの主旨から良いと考えます。従って、達成指標②は「水質検査体験件数」、28年度の実行計画は「公募により～体験をしていただきます。」が良いのでしょうか。	C委員	提案 「水質検査体験」は、第2次おいしい水づくり計画において「お客様と連携・協力して、おいしい水づくり推進します」という「基本的な考え方」の一つに位置づけておりますので、達成指標は「『水質検査体験』への協力者数」と修正します。 同じ考え方から、実行計画については「公募により選任した一般のお客様に、簡易水質検査を体験していただき、測定結果等の報告をしていただきます。」と修正します。	計画課		

基本目標	主要施策	項目	番号	評価会議における意見等	種別	回答（対応策）・コメント	担当課等	備考
基本目標3 お客様からの 「信頼」の確保	主要施策(6) お客様サービスの推進	取組① 「お客様の声」を活かした事業運営 (広報・広聴の充実)	25	アンケート情報収集割合について、28年度の達成目標1.87が26年度の達成実績2.03よりも低くてよいのでしょうか。	A委員	確認	アンケート回答数の半数以上を「まちかど水道コーナー」で実施したものが占めており、これは天候などによって回答数が大きく左右されます。そのため21年度から26年度までの平均1.87を達成目標としました。	業務振興課
	主要施策(7) 大規模事業体の責務と社会貢献	成果指標	26	3,100t-CO2以上（毎年度）、というのは、毎年3,100tずつ削減されていくという意味なのか、あるベースラインから常に3,100t下回るようにする、ということなのか、どちらでしょうか。	D委員	確認	二酸化炭素削減に係る取組を全く実施していない場合と比べて、毎年度3,100t削減する目標設定としております。	総務企画課
			27	二酸化炭素排出削減量の算出方法を説明してください。	D委員	確認	電力使用によるものは削減した電力量に環境省が公表する電気事業者別排出係数を乗じて、算出しています。電力以外につきましては、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条に掲載の排出係数をもとに算出しています。	総務企画課
			28	中期経営計画のp.52に「再生可能エネルギーの活用や省エネルギー化、廃棄物の再資源化等を実施することで」とありますが、例えばH26実績の3,254tにおけるそれぞれの寄与はどの程度なのでしょうか。	D委員	確認	平成26年度で削減した3,254tの内訳としましては、再生可能エネルギー（マイクロ水力、太陽光）の活用により2,297t、水運用の効率化や漏水防止等の省エネルギーにより629t、建設発生土のリサイクルや削減により327tとなっています。	総務企画課
			29	二酸化炭素排出削減量だけでは「環境・国際・地域」に対する指標として不十分と感じます。水道局の事業全体への信頼度や満足度のような指標があればよいのかもしれませんが。	D委員	提案	成果指標である二酸化炭素排出削減量と合わせて、他事業体への支援や国際貢献等の取組の進捗状況を踏まえて、総合的に評価することとしています。	総務企画課
			30	再生可能エネルギー発電設備活用による発電量について、28年度の達成目標4,200kWh以上が26年度の達成実績4,326kWhよりも低くてよいのでしょうか。	A委員	確認	再生可能エネルギー発電量については、設備の適切な運転や管理を通じ、可能な限り確保していくこととしております。しかしマイクロ水力発電については送配水量の変動により影響を受けること、また太陽光発電は日照時間に左右されることなど不確定要素があるため、平成22年度から26年度までの5年間の平均発電量を元に平成28年度の達成目標を4,200kWh以上としました。	浄水課

基本目標	主要施策	項目	番号	評価会議における意見等	種別	回答（対応策）・コメント	担当課等	備考
運営基盤の強化	取組② 職員の能力開発と育成		31	研修の「定期的な見直し」について、その基準やチェックポイントはどのようなものでしょうか。	B委員	確認	見直しの基準は予め設定していませんが、局の課題に対応した研修テーマの設定等を行うとともに、受講者のアンケートを活用することで、講義内容や講義方法、受講しやすさ（研修時間、研修回数等）などの改善を図っていきたく考えています。	総務企画課
			32	民間委託の基準や考え方について、水道局として具体的に定めたものはあるでしょうか。	B委員	確認	水道局では、民間委託についての統一的な基準や考え方は定めておりませんが、県の行政改革計画で示された、委託することにより迅速化や効率化が図れる業務について、費用対効果や事務量軽減効果等を見極めた上で、民間委託を推進するという考え方に沿って実施することとしています。	総務企画課
	取組④ 民間活力の活用による事業の推進		33	21本の委託先は同一会社でしょうか。また、入札で決めるのでしょうか。	C委員	確認	施工管理業務委託については、本業務に必要な資格や技術者を有する水道コンサルタント会社を対象に指名競争入札を実施しています。（平成27年度は12社が受注）	給水課
			34	達成目標のア)及びイ)について、具体的な数値目標を掲げることは難しいのでしょうか。	B委員	確認	ご指摘のとおり、取組内容としては重複する点はあると考えておりますが、健全経営を確保しつつ、効率的な事業運営を行うため、民間活力の活用やコスト削減を独立した取組としたところと、民間活力の活用における施行管理委託につきましては、27年度に本格的に導入したばかりであり、導入の効果の検証も含めて、研究していきたくと思います。 コストの削減の中で、長寿命管の導入等によるライフサイクルコストの低減化については、トータルで見るとコスト削減につながりますが、初期投資費用が従来よりも大きくなるものと見込まれます。また、経常費用の圧縮については、既に継続して実施していることから、前年度と比較して大きな効果が見込めないと考えられます。 このような理由から、具体的な数値目標は設定してはおりませんが、評価に当たっては、それぞれの取組による実績はできるだけ数値化してお示ししたいと考えております。	総務企画課 給水課
	35	取組内容を読むと、④、⑥は⑦に包含されているように読めます。業務能率は経営に直結するので当然かもしれませんが、重複感があります。 ④、⑥は達成指標も具体的ではないと感じます。④については業務委託を増やすこと自体が本来の目標ではなく、委託によって促進された効率を定量化するのが理想だと思います。⑥についてもコスト低減や費用圧縮を定量的に示さないと、経営の改善につなげられないのではないかと思います。	D委員	確認				
	36	ライフサイクルコストの低減化、経常費用の圧縮については、評価書では具体的な例を実績として記載をお願いします。	C委員	確認				